

藤岡市



議会だより

◆発行日 平成12年5月1日 ◆発行 藤岡市議会 ◆編集 藤岡市議会編集委員会 ◆印刷 株式会社エスエイ印刷

第10号



庚申山総合公園アスレチック広場

3月定例会の あらまし

定例会は、3月1日から3月16日までの16日間の会期で開催されました。

平成12年度藤岡市一般会計予算など39議案が提出されました。

◇1日〓本会議 会期の決定、議案39件を上程、うち22議案を即決。

◇2日〓経済常任委員会、教務厚生常任委員会。

◇7日〓予算特別委員会。

◇8日〓予算特別委員会。

◇10日〓本会議一般質問。

◇14日〓本会議一般質問。

◇16日〓本会議、委員会付

託・市長提出追加議案3件を即決。

一般質問

職員研修について

金子勝治

問 職員研修規則第3条に派遣研修の規程があるが、フリー研修として、総合性や対等性あるいは漸進性や多様性等、異文化の人々を尊敬できる職員を育成し、行政サービスの更なる向上を、図るべきではないか。

答 最近ではカナダのリジャイナ市や、米国の都市水道施設や都市開発、そして日本赤十字社のベトナム派遣随行等で、異文化交流体験を持つ職員もいるが、幅広い知識や柔軟な発想を養うため、検討していきたい。

問 市行政の国際化や地方分権に対応するために、職員の海外研修を実施している他市の例等も研究し、行政サービスのレベルアップを目的として、職員の海外研修を推進されたい。



答 これまでカナダへの中学生派遣や、中国の友好都市交流等に、職員を同行させて来たが、国際化時代による地球規模での交流を考え、積極的に取り組んでいく必要があり、目的や成果について検討を重ねたい。

藤岡市

指定ゴミ袋について

吉田達哉

問 指定ゴミ袋が改善され半年が経過し、袋の値段が高いか容量が減ったという話が聞かれます。平成12年に大幅な分別収集の変更があるので、その時に市民アンケートを取るなど幅広く意見を聞き、袋の容量と価格の見直しを要望します。

答 現在、容量を大きくした場合、単価がどのくらいになるか、1袋10枚入りにできないか、現行の単価を下げられないか交渉しています。分別収集形態変

更時に要望に沿った袋の変更を検討する考えでおります。

庚申山総合公園の

整備について

吉田達哉

問 庚申山総合公園は、あるがままの自然に魅せられて散策を楽しむ市民の憩いの場でありますが、昨年ふじふれあい館南面の一部が人工的な造成による公園となりました。施工後は雨が降るたびに人工竹林の土砂が流されたり、雨水が民家に押しよせるような状態であります。又、造成した場所では野鳥の姿も少なくなりました。この様な面的整備をする場合、小動物に対しての生態系調査や地質調査を行ったか、自然保護にどの様に配慮したのか伺います。

答 都市計画決定時は環境影響評価は義務づけられていない為実施していません。今後は検討したいと思えます。鳥類等の保護については自然環境保護の為、エリアを決めて自然のまま保全し有識者の意見を聞いて検討したいと思えます。

問 庚申山周辺に建設予定の市民プールを計画変更した理由と今後の計画を伺います。

答 当時の市民の要望はレジャー性を持った大型のプールで、交通の利便性や用地の問題から庚申山周辺に決めましたが、地元との合意が得られない為断念しました。アンケート調査の結果屋内の要望が多く寄せられ、長年の懸案であるので早期に建設する為候補地の一つとして現プールの改築を検討します。実施時期については、説明会を開催し理解が得られれば秋ごろ設計に入る予定です。

公立藤岡総合病院について

青柳正敏

問 多野藤岡医療事務市町村組合から鬼石町が脱退した折、負担率が70%から90%になった根拠をお示し願います。

答 広域圏のリーダーとしての当市の立場や、病院の存続も図る為、医療組合の運営に対し、人的、財政的に責任を持つことが望ましいとの結論に達した。

90%の根拠はないが当時の構成市町村議会が各議会で議決し決定したものである。

農業振興について

青柳正敏

問 平成9年12月農業振興株式会社が発立され、堆肥センター建設事業に着手してきた訳ですが、昨年11月「家畜排泄物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」が施行され、5年間の猶予期間があります。建設隣地の地権者同意承諾を必要とする事ですが、過日お断りした朝日工業進出計画地の地権者である日東興業からも堆肥センター建設の隣地同意承諾を頂く難題が浮上し、又吉井町も産業廃棄物関係の企業進出受け入れ拒否を表明するなかで、吉井町在住の方からも同意書を頂かなければなりません。堆肥センター建設が危惧されますが市長自らの陣頭指揮の下、同意書問題を解決し建設促進を願いたい。

答 昨年11月23日付けで地元西平井地区より堆肥センターの

受け入れ不可能通知を受け、建設予定地問題や隣接地権者同意取得、西平井地区とも合意形成が図られないため堆肥センター建設事業が推進できずにいる。

法の制定により家畜糞尿の野積み、素掘りの投棄が禁止された事により畜産農家の危機感がより一層増し、行政への依存感を強めるだけでなく、議会への建設促進陳情書に見られるように合意形成が難しい施設であるがゆえ、関係者の主体性が基本にならなければ事業の遂行はできないと考える。堆肥センター建設の設置場所並びに施設、主体等、計画の抜本的な見直しと、それに対応した地域合意形成を図りながら推進したい。

藤岡PA地域拠点

整備事業について

木村 喜徳

問 21世紀の藤岡市の顔となる愛称「ららん藤岡」は、4月28日にオープン予定ですが、オープンに向けての準備、各施設の管理、運営計画について。

藤岡市の顔として、市の発展に

結びつけ、利用効果を期待しているのか伺いたい。

答 オープンに向かって工事はほぼ順調に進んでおり、道路公団との役割分担の中で告知、広告、宣伝を予定しています。

各施設の管理運営計画については各関係団体等の中で十分な協議を重ねており、オープン時には、充分な態勢で臨めると思いますが、市の顔としての期待としては、群馬県の玄関口として、人、物、情報が交流できる場所として地域産業、花、農産物を全国に発信し、産業、文化、教育等の交流の拠点として活用し、位置づけたいと思います。

毛野国白石丘陵公園

整備事業について

木村 喜徳

問 この事業の中心施設である博物館建設に着手となるが、今後の予定と周辺の一体的な整備計画を伺いたい。

答 建設用地1万3970平方メートル、3100平方メートルの平屋造、平成18年度末の

開館を予定している。古墳整備については3期の整備事業に分け順次進め、博物館と史跡を結ぶ遊歩道、猿田川周辺の一体整備を検討しており、今後は基本設計や実施設計を行っています、計画的な事業を推進してまいります。

又博物館への進入道路は13年度に用地買収、幅員6メートル延長300メートルを計画。

稲荷山古墳の用地買収は国、県と協議を進めている状況にあり、引き続き買収ができるよう関係省庁に働きかけています。

いずれにしても、この事業には積極的に取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくご理解をいただきますと思います。

水道事業について

針谷 賢一

問 藤岡市の石綿セメント管の現況について伺いたい。

答 石綿管の更新残は約11kmあります。すでに耐用年

数を9割以上が経過している。又、県内11市で本市は41.6%と更新残が一番多い。尚、漏水件数も過去5年間平均で200件前後でしたが、平成11年度は320件と増えている。概ね1件の漏水工事代は、20〜30万円位かかるとのこと。

問 石綿セメント管の布設替え推進計画について。

答 今までは、20年とか24年位という計画を進めていたが、いろいろの状況を考慮して市民生活にご迷惑を掛けない様に平成12年度中に計画をたてて調査検討、その後、設計をして平成13年度から着手したい。尚、更新期間は15年前後で進めて行きたい。

プール建替について

大戸 敏子

問 宮本町のプール現在地にプールを建替る基本設計料として2000万円の予算が計上されたが、庚申山予定地の断念については努力不足ではないか。又他の候補地を真剣に検討した

か。なお、現在地は1ヘクタールしかなく、庚申山の3.3ヘクタールに比べて駐車場やプールの規模はどうなるのか伺いたい。

答 途中で休眠期間をとり又交渉を再開したが最終的に合意を得られなかった。賛成者は会議で一言も発言しない。他の予定地も2、3あるが、宮本町の現在地が第1候補である。規模は25メートルプール、健康増進型プール、レジャープール、スライダーの室内プールである。

問 計画を練直す為にプール建設対策委員会の設置を提言するが市長のお考えを伺いたい。

答 庚申山に作るのが希望だったが、何回交渉しても問題点が出てくる。この辺で決断すべきで深い御理解をいただきたい。



市民プールについて

新井 雅博

問 市民プール建設の変更計画を、議会に対し何ら説明せずに年度予算に設計委託料2000万円が計上されたが、市長の真意は、又市民ニーズにあったプールとは、市長はどのようなプールと考えているのか伺いたい。

答 議会を軽視しているわけではありません。当然議会のご意見を素直に行政の中に取り入れていきます。プールについては、執行者という立場で、責任を持って、市民のニーズにこたえていける、特にこれからは健康型のプール、これが基本です。

問 室内型プールであるなら民間に任せざるべきであり、又多額の建設費と年間1億円を超える経費を考え合わせると、この事業を、他の教育を始めとする子育て支援事業に振りかえる考えを、持っているか伺いたい。

答 行政として公がやる施設としての目的を認識しながらこ

れは今後の課題として受け止めていきたい。年間1億円からの経費がかかる、これは大きな負担であります。と言って1ヶ月半の開場の在来プールでいいのか、とらえ方は人それぞれでありますので、これからも意見調整をしながらよりよい方向を考えていきます。

問 市長が提案している諸事業に当り、どのようにその財源を確保していくのか、施策を伺いたい。

答 色々な施策を行って、市の環境を高めていくことによつて、産業・人が本市へ入ってくる。それで税収が上がってくる。

学校施設について

新井 雅博

問 各学校のプールが大変老朽化しているので、早急にプールの改修計画を作成し、改修に取り組みむべきである。今後の取り組みについて伺います。

答 早い時期に教育施設全般の見直し、あるいはこれからの計画を樹立させていきたい。

オウム関連問題について

笠原 史嗣

問 オウムが利用していた2施設をなぜ藤岡市が買い取るかを教えていただきたい。

答 弁護団との協議の中で競売の申し立てをする必要があると判断し、その権利を取得する為に信用保証協会から500万円の債権を取得し競売の申し立てが出来る運びとなり法廷闘争に入りました。又、その時に念書により藤岡市、又は、藤岡市が指定する第三者が買い取るなっています。

問 今後の買い取りの予定はどうするか。又、第三者とは誰を指すのか。

答 買い取りは、財源として起債、補助金等を考えている。又、権利関係が抹消されたあと任意売買での買取になると思う。それから第三者とは、公社を考慮しております。いずれにせよ今後、議会とよく協議を重ねた上でこの買取問題は検討していきたいと考えておりますので

出前講座について

斉藤 千枝子

問 住民参加の町づくり、生涯学習として出前講座の開設の方向性を伺いたい。

答 この講座は、市職員等の専門知識や技能を一覧表にし、講座メニューとして、市民の団体等が希望に合ったメニューを選び、講師が出向き提供するというものです。今年の10月をめに、進めています。

問 人材バンク、ボランティアバンクの設立の考えはないか伺いたい。人づくりが「いきいきとした街」づくりとなっていくと考える。市民の方で、専門的な知識や特殊な才能を持っている方、あるいは人のお役にたきたいという個人や団体を登録していただき、研修等を行い育てて、人と人を結びつけていくシステムは考えていないのか。

答 人材を活用する制度というところで考え方は同じだと思えます。出前講座等を拡充するな

ど多方面から盛り上げ、環境を整えながら、検討し努力をさせていただきます。



介護保険制度の

スタートにむけて

金井 壽

問 日本では、長寿を喜べない程、介護の問題は、する人もされる人も大変である。そこで、スタートにあたり一部負担10%ということであるが、福祉から保険への転換の中で問題はないか伺いたい。又、この制度に民間企業も参入できるが、企業は利益追求の目的もあり、心配な点もあるが行政としてどう指導

していくか伺いたい。

〔答〕 特別養護老人ホームについては、3月31日に入所している人は、5年間の入所が保障されている。負担も所得区分毎に軽減措置がとられる予定です。在宅サービスについても、現在はサービスを受けている人については、当初負担は10%が3%に軽減されることとなっております。民間参入のことについては、事業者と協議してまいりましたので、サービス上のトラブルはないと思っています。当市では施設サービス、在宅サービスについて概ね確保し、スタートできるものと考えています。

小中学校の設備、

備品等について

茂木 光雄

〔問〕 小中学校におけるパソコンの現在の導入と体制について。
〔答〕 平成8年度から導入を開始、小野小21台、美九里東小11台、藤岡第一小21台、日野西小3台、藤岡第二小21台、美九里西小11台、美土里小21台、平井小11台、日野東小、日野

西小各3台、平成12年度予定は神流小21台、東中、北中、小野中、西中各41台、南中21台となっており、同時に周辺機器も揃えていく。ソフトは、基本ソフトの他各学年に見合ったソフトを購入。校内のLANについては小学校21台導入校と中学校全部の接続が終わり、組織的な体制を整えつつある。又、情報教育担当教師の研修も活発に試されている。

地域教育の充実について

茂木 光雄

〔問〕 地元高校の活性化について。
〔答〕 市教委として、従来より地元各高校と市内中学校との連絡会議、市内の中学校長会等を開く中で地元高校への進学問題について話し合いを深めて来た。今後、学校運営にあたり保護者や地域住民の意見を把握、反映し、その協力を得るとともに、より一層地域に開かれた特色のある学校づくりを推進していく必要がある、学校評議制度

がこの学校運営を支援するものと位置づけられる。この制度の導入で、各学校が今まで以上に子供や地域の実態を生かした教育活動を展開出来る様になり、子供達が夢と希望と信頼を託する事の出来る魅力ある地元高校の充実、発展に向けて積極的に取り組んでゆきたい。それによって、子供一人一人の個性を生かした考える力や人間性等を育てていける様になるものと考えている。

市民プールについて

三好 徹明

〔問〕 平成4年より推進していた庚申公園内のプール計画を昨年12月に断念し、宮本町の現在ある場所で新たな温水プール計画に方針変更をした経過と理由を伺いたい。
〔答〕 地元で屋外レジャー型プール説明をしましたが、地元が公共事業はもういらぬなどの意見があり進展が見られなかつたので庚申山での計画を白紙に戻し、急ぎよ今年1月から室内

温水プールを計画立案した。
〔問〕 5年近く地元住民に説明もなく中断し、昨年暮れにあわただしく説明会を開き中止を決定した。日ごろ市民参加の行政とか議論を重ねて市政を推進したいと言っているながら議会にも事前の説明もなく、市民の声をくみ上げ反映しているとはとても思えない。
〔答〕 地権者は現在地で農業をやりたいと言っている。一日も早くプール実現するために宮本町の間所が最適であろうと判断した。

有用微生物群

EM菌について

塩原 吉三

〔問〕 畜産及農業等に対する無農薬並び有機農法への転換について伺います。
〔答〕 平成8年度より畜産農家を中心にEM菌群を悪臭緩和剤として、又、農作物の土壤改良剤とし、有用微生物菌群を混入した堆肥は窒素の吸収がよくなる等の効果が実証されています。有用微生物菌群の特徴とし、

主なもので抗酸化作用が上げられ、農作物の腐敗を遅らせ、首都圏への出荷に十分耐え得る農作物の栽培が可能になると考えられ、有用微生物菌群の中には、農作物の自浄作用を促進させるものもあり、病虫害防除用の農薬を低減し、有機農産物として付加価値をつけた農作物の栽培が今後の課題であります。
〔問〕 84種共生させた、有用微生物「EM菌」の利用について、当市では、どのように考えているか、伺います。
〔答〕 畜産環境問題が騒がれる昨今、畜産排泄物を堆肥として有効利用が検討され、堆肥の安定供給を図る、稲作、イチゴ農家等で有用微生物菌を試験的に取り組んで行きたいと思えます。



議案等審議結果(3月定例会)

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
第 1 号	藤岡市等公平委員会委員の選任について	同意(全員一致)
第 2 号	中華人民共和国江蘇省江陰市との友好都市締結について	可決(全員一致)
第 3 号	藤岡市特別会計設置条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 4 号	藤岡市行政財産目的外使用料条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 5 号	地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決(全員一致)
第 6 号	藤岡市手数料条例の全部改正について	可決(全員一致)
第 7 号	藤岡市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の全部改正について	可決(全員一致)
第 8 号	民法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決(全員一致)
第 9 号	藤岡市国民健康保険税条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 10 号	藤岡市福祉医療費支給に関する条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 11 号	藤岡市特定地域生活排水処理事業の整備に関する条例の制定について	可決(全員一致)
第 12 号	藤岡市特定地域生活排水処理事業減債基金条例の制定について	可決(全員一致)
第 13 号	藤岡市介護保険条例の制定について	可決(全員一致)
第 14 号	藤岡市介護保険円滑導入基金条例の制定について	可決(全員一致)
第 15 号	藤岡市デイサービスセンター栗須設置及び管理に関する条例の制定について	可決(全員一致)
第 16 号	藤岡市老人福祉センター設置に関する条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 17 号	藤岡市老人福祉センター直営診療所設置に関する条例の廃止について	可決(全員一致)
第 18 号	藤岡市ホームヘルパーサービス事業負担金徴収条例の全部改正について	可決(全員一致)
第 19 号	藤岡市労働環境整備資金融資促進条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 20 号	市道路線の廃止について	可決(全員一致)
第 21 号	市道路線の認定について	可決(全員一致)
第 22 号	平成 11 年度藤岡市一般会計補正予算(第 4 号)	可決(全員一致)
第 23 号	平成 11 年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第 3 号)	可決(全員一致)
第 24 号	平成 11 年度藤岡市老人保健特別会計補正予算(第 2 号)	可決(全員一致)
第 25 号	平成 11 年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第 1 号)	可決(全員一致)
第 26 号	平成 11 年度藤岡市鳥川橋梁整備特別会計補正予算(第 2 号)	可決(全員一致)
第 27 号	平成 11 年度藤岡市学校給食センター特別会計補正予算(第 3 号)	可決(全員一致)
第 28 号	平成 11 年度藤岡市下水道事業特別会計補正予算(第 2 号)	可決(全員一致)
第 29 号	平成 11 年度藤岡市水道事業会計補正予算(第 2 号)	可決(全員一致)
第 30 号	平成 12 年度藤岡市一般会計予算	可決(全員一致)
第 31 号	平成 12 年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計予算	可決(全員一致)
第 32 号	平成 12 年度藤岡市老人保健特別会計予算	可決(全員一致)
第 33 号	平成 12 年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計予算	可決(全員一致)
第 34 号	平成 12 年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決(全員一致)
第 35 号	平成 12 年度藤岡市学校給食センター特別会計予算	可決(全員一致)
第 36 号	平成 12 年度藤岡市下水道事業特別会計予算	可決(全員一致)
第 37 号	平成 12 年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計予算	可決(全員一致)
第 38 号	平成 12 年度藤岡市簡易水道事業特別会計予算	可決(全員一致)
第 39 号	平成 12 年度藤岡市水道事業会計予算	可決(全員一致)
報告 1 号	専決処分承認を求めることについて(多野藤岡広域市町村圏振興整備組合同約の一部改正)	承認(全員一致)
報告 2 号	専決処分承認を求めることについて(群馬県市町村総合事務組合同約の一部改正)	承認(全員一致)
第 40 号	藤岡市中小企業設備近代化資金融資促進条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 41 号	藤岡市小口資金融資促進条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 42 号	多野藤岡医療事務市町村組合同約の変更について	可決(全員一致)
そ の 他		
	花の交流館の照明器具の追加工事についての件	報告
	議員片山喜博君に対する懲罰の件	戒告(全員一致)
陳 情		
第14号(11年)	産業廃棄物中間処理施設の建設に対する反対陳情	継続審査(賛成多数)
第19号(11年)	産業廃棄物処理施設の建設に対する反対陳情	継続審査(全員一致)
第 2 号	家畜ふん尿処理施設建設に関する陳情	継続審査(全員一致)

編集後記

桜の花も散り野山は新緑で彩られる季節となりました。先般、21世紀に向け最後の年となる平成12年度予算が全員の賛成をもって可決されました。4月1日より福祉施策の充実を図る介護保険事業が順調に歩みだしました。

ハイウェイオアシス「ららん藤岡」もオープンとなり藤岡市の文化や高速交通網の情報発信の拠点として重要な役割を担って行く道の駅となると思えます。多くの方々に愛される施設となることを希望します。

市議会を傍聴しよう

議会は3・6・9・12月の定例会と随時の臨時会が開かれます。

傍聴希望者は、市民相談室へ申し込んでください。

問い合わせは市議会事務局(☎22-1211内線361)へ

- | | | |
|--|-------|--------|
| | 委員 長 | 塩 原 吉三 |
| | 副委員 長 | 佐 藤 淳 |
| | 委 員 | 金 子 勝治 |
| | 〃 | 青 木 寛 |
| | 〃 | 山 田 一友 |
| | 〃 | 川 野 盛幸 |
| | 〃 | 吉 田 達哉 |